

明石市交通安全対策会議（議事要旨）

日 時 令和4年2月8日（火）13:30～14:10

場 所 市役所議会棟2階 第2委員会室

出席者 別紙のとおり

傍聴者 1名

会議次第 1 開 会

2 あいさつ 明石市長 泉 房穂

3 市内の交通事故概況報告

4 第3次明石市交通安全計画について

配布資料 資料1 市内の交通事故概況について

資料2 第3次明石市交通安全計画（案）の概要

資料3 第3次明石市交通安全計画（案）

《議事要旨》

——次第に沿って進行——

○冒頭に明石市長よりあいさつ

○次第3について資料1を使って事務局より説明

（会長）

次第3について意見はないか。

—意見なし—

○次第4について資料2、3を使って事務局より説明

（会長）

次第4について意見はないか。

高年クラブから何か意見はあるか。

（委員）

高校生が学校前の4m道路をいっぱいを使って自転車登下校する。自身が自転車でも怖くて自転車に乗れない。意見募集にて「学校にお願いしても直らない」と出ていたが、なんとかな

らないか。

(会長)

明石市は特に自転車に関する問題が多くある。高校とも連携しながら対応はしているが、まだまだ不十分である。事務局何か補足説明はないか？

(事務局)

当市交通安全課へも度々、苦情の連絡を受けている。その都度学校へ連絡し情報の共有を行い指導してもらっている。また、当課では平成28年度からスケアードストレート教室という実際の交通事故を再現した教室を行っている。今年度は初めて定時制高校でも実施しました。予算の関係もあり、年2校の実施としているが今後も啓発活動とともに地道に継続していく。

(会長)

前々から高校生の自転車に関しては難しいテーマですけれども、改めて高校の方へ、県立高校もあるので、市からいえることは決まっているが、命に係わる問題であるのでしっかり対応したい。よろしく願いしたい。

(委員)

通学路の危険箇所は毎年チェックしている。予算や優先順位があるとは思いますが緊急度の高いものから改善に取り組んでほしい。バイク運転をしていて怖いと思うことが多々ある。車同士、バイク・自転車利用者がみんなにやさしい運転ができる街になってほしい。譲り合いの気持ちがあれば交通事故が減るのではないか。

(委員)

ハイビーム活用道路について。明石市内に2か所と聞くが、調べてもよくわからなかった。県警の方で地図に示してほしい。また、運転中にここがハイビーム路線だとわかる標示があるのか。

(事務局)

明石市には、茶園場町・魚住町清水と2か所ある。各路線には電信柱に巻き看板を取りつけ、わかるようにしている。対向車が無いときはハイビームを活用して安全に道路を使用していただきたい。

(会長)

広報あかしで交通安全の特集を組む時に、ハイビーム活用路線など色々な情報を載せて周知していく。

(委員)

地域に民間企業の社員寮が建設されるときいている。交通安全啓発をお願いしたい。

(会長)

他に意見はないか。

—意見なし—

(会長)

では、第3次交通安全計画について(案)のとおり計画としてよいか。

—異議なし—

(会長)

異議がなかったため、(案)をとりまして、正式に交通安全計画が決定されたものとする。
これをもって会議を閉会とする。

以上

